Panasonic

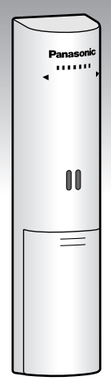
ドアセンサー

品番 ECID20A

取扱説明書
施工説明付き

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



ご使用前に

この商品は、パナソニックシステムネットワークス(株)製のファクスの親機に登録し、ドアが開いたことをお知らせする商品です。

●親機に登録しないと、この商品は使用できません。
●この商品は本体と磁石を組み合わせて使用し、ドアが開くと報知音で知らせる機能をもっていますが、侵入・盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害については責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

登録可能な親機 (2012年11月現在)

■ファクス：KX-PD702
●本書では、「親機」と記載しています。
●登録可能な親機について http://panasonic.jp/fax/を参照ください。
●本体は無線通信に1.9GHz帯を使用しています。
2.4GHz帯を使用している商品には登録できません。

電波について

■この商品は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。
本体には1.9GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。 1.9−D
(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

■本体は、Digital Enhanced Cordless Telecommunications に準拠した日本国内向けの通信方式です。
Digital Enhanced Cordless Telecommunications
次世代デジタルコードレス通信方式

■本体の使用周波数に関わるご注意
本体の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
1.本体は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本体から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本体の電池をはずして、お客様ご相談センター(下記参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2.その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(下記参照)へお問い合わせください。

設置場所に関するご注意

■屋外・浴室には設置しないでください。本体は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
■親機と本体の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。電波が届きにくい場合は、中継アンテナ(別売)の設置をおすすめします。(親機に付属の説明書参照)
■下記のような使用環境では、電波(ノイズ)を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。
●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
●機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
●機器の周辺が金属物で囲まれている。
(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
●金属物の壁面に機器を取り付けている。
●操作する人の体で電波を遮っている。
●電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の2m以内にある。
●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
●機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
●機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
■到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますので注意してください。
■設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

お手入れ方法

●ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。

注 ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

●汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使わないでください。

安全上のご注意

⚠警告

必ず守る
電池の挿入や交換、および取付用皿タッピンネジの取り扱いは、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
守らないと、誤飲やケガをするおそれがあります。

禁止
自動ドア、火災警報器などの自動制御機器の近くで使用しない。
本体からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

⚠注意

必ず守る
リチウム電池は極性に注意して、表示通りに入れる。
極性を間違えると、リチウム電池の破裂や液もれの原因となります。

ドアの開閉時、指のはさみ込みに注意する。

確実に固定する。
固定に不備があると、落下によりけがをしたり、床面にキズをつけるおそれがあります。

禁止
ブザー部に耳を近づけて報知音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。

使用上のご注意

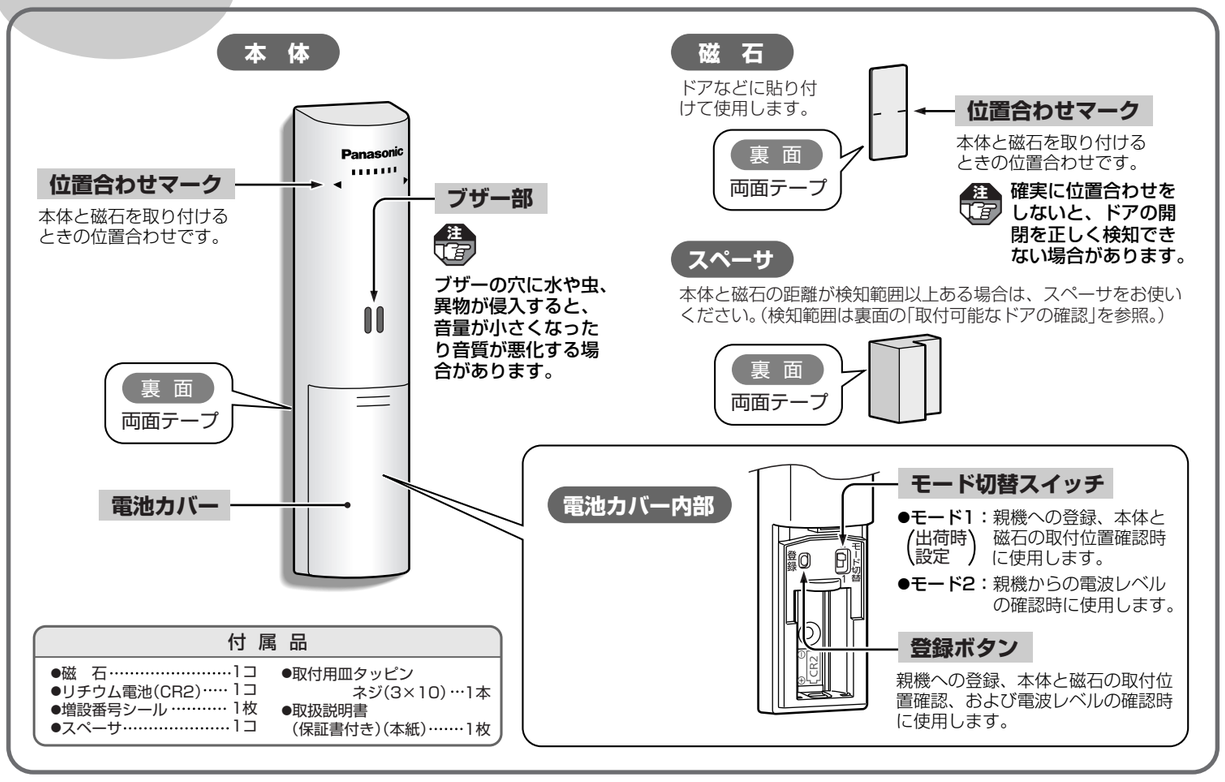
■分解・改造することは法律で禁じられています。故障の際は、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
■この商品は本体の中にあるリードスイッチが磁石の磁力によって開閉され信号を送信します。近くに強い磁力を発生するものがある場合は、誤動作するおそれがありますので注意してください。
■磁気に弱い物(キャッシュカード、通帳など)を磁石に近づけると、磁力線により使用できなくなる可能性があります。
■本体および磁石に衝撃を与えないでください。落としたりドアを強く開閉すると、誤動作や破損、変形の原因となります。
■−10℃以下、40℃以上の使用環境では電池の性能が低下し、動作しない場合があります。
■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため本体は医用電気機器から22cm以上離して使用してください。また、強い磁石を使用していますので、医用電気機器に近づけると故障の原因となります。

異常時の点検・処置

●修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。点検・処置をしても異常があるときは、販売店やお客様ご相談窓口に相談してください。

こんなとき	原因と対応
ドアを開けても本体の報知音が鳴らない	●親機の電源が入っていますか？ 親機の電源が入っていないと鳴りません。 ➡ 親機の電源が入っているか確認してください。
	●親機に増設(登録)されていますか？ 親機に増設(登録)していないと鳴りません。 ➡ 親機の説明書を見て、本体が親機に登録されているか確認してください。 増設(登録)されていない場合は、親機に増設(登録)してください。
	●親機の報知レベルが「オフ」設定になっていませんか？ ➡ 親機の説明書を見て、親機の報知レベルを「高い」または「低い」に設定してください。
	●本体が親機から離れすぎていませんか？ ➡ 本体で電波レベルの確認をしてください。 (電波レベル2以上でのご使用をおすすめします。) ➡ 電波レベル1以下のときは、中継アンテナ(品番：KX-FKD1)をおすすめします。 ➡ 電波レベルの確認をしても、確認音が鳴らないときは、本体の電池を交換してください。
	●親機のディスプレイに、ドアセンサーの電池交換メッセージが表示されていませんか？ ➡ 電池を交換してください。
	●本体と磁石の取付位置がずれていませんか？ ➡ 磁石が本体の検知範囲内かどうか確認してください。
ドアを閉めても本体の報知音が止まらない(約30秒間鳴る)	●ドアを閉めただけでは、報知音は止まりません。 ➡ 親機の報知レベルが「高い」設定の場合は、親機の説明書をお読みください。

各部のなまえとはたらき



付 属 品

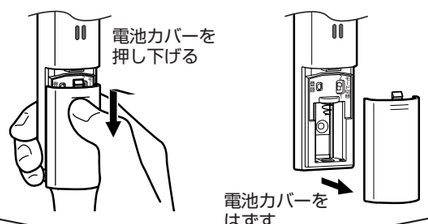
●磁 石……1コ
●リチウム電池(CR2)……1コ
●増設番号シール……1枚
●スペーサ……1コ
●取付用皿タッピンネジ(3×10)…1本
●取扱説明書(保証書付き)(本紙)……1枚

登録方法

1 親機への登録

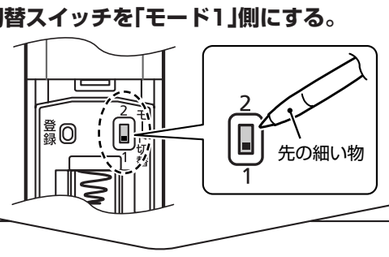
●本体の電池をはずした状態から始めてください。

❶本体の電池カバーを開ける。

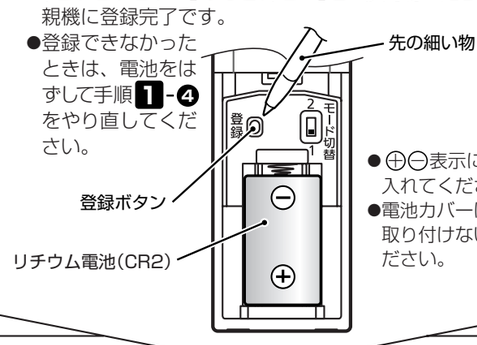


❷親機でドアセンサーの登録操作をする。
(親機の説明書をお読みください。)
●親機に登録するドアセンサーの番号を覚えておいてください。(手順 1 -❺で記入します。)

❸モード切替スイッチを「モード1」側にする。



❹電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから、登録ボタンを3秒以上押す。
●「ピッピッピッ…」のあと、「ピー」と1秒間鳴ったら、親機に登録完了です。
●登録できなかったときは、電池をはずして手順 1 -❹をやり直してください。



●⊕⊖表示に従って入れてください。
●電池カバーは、まだ取り付けないでください。

❺増設番号シール(付属)を貼る。
●増設番号シールに登録したドアセンサーの番号を記入し、貼り付けてください。

❻続きの操作のために、電池をはずす。
●ドアセンサーの報知音が鳴っているときは電池をはずすと止まります。

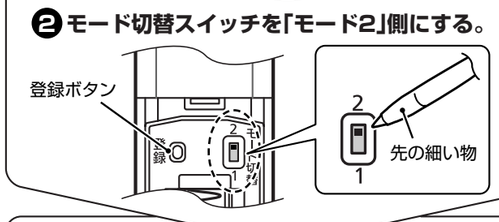
ドアセンサーを使用するには親機への登録が必要です。
1 親機への登録
↓
2 親機からの電波レベルの確認

2 親機からの電波レベルの確認

●本体を設置する場所の電波の強さを確認します。
●本体の電池をはずした状態から始めてください。

❶取付場所に移動する。

❷モード切替スイッチを「モード2」側にする。



❸電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから、2分以内に登録ボタンを押す(2秒以上押さない)。

❹実際の取付位置に本体を移動させる。
注 電波レベルの確認、および磁石の取付位置の確認が終わるまでは、本体をドアに貼り付けないでください。

❺電波レベルを確認する。
●電波レベル確認音が約3分間鳴ります。
●もう一度確認するときは、電池をはずして手順 2 -❸からやり直してください。
●電波レベル2以上でのご使用をおすすめします。

電波レベル		確認音
強い ▼ 弱い	レベル3	ピー ピー ピー
	レベル2	ピー ピー
	レベル1	ピー
圏外(親機からの電波が届いていません)		ピピピピピピ

❻電波レベルの確認が終わったら、電池をはずす。
●続けて裏面を参照して、本体と磁石を取り付けてください。

電池を入れても「ピッ」と鳴らないときは、下記の操作を行ってください。
1.電池をはずす
2.本体の位置合わせマークに磁石を約3秒間当てる
3.磁石を本体から離す
4.電池を入れる
●「ピッ」と鳴ることを確認してください。

Panasonic 持込修理

ドアセンサー

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品 番	ECID20A
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 (但し構成機器を含む)
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	ご住所 お名前 様 電 話 ( ) −
※販売店	住所・販売店名 電話 ( ) −

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 TEL 0120-283338 (フリーダイヤル)

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

キリトリ線

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは… よくお読みください

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。
販売店名
電 話 ( ) −
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…
「異常時の点検・処置」でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下の内容をご連絡ください。
●製品名 ドアセンサー
●品 番 ECID20A
●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用
【部品代】部品および補助材料代
【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 7年
当社は、このドアセンサーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、下の窓口にご相談ください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…
パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:30 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……
パナソニック エコソリューションズ修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ修理ご相談窓口
ナビダイヤル (全国共通番号) 0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時
ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪 ☎06-6906-1090
札幌 ☎011-261-6401(転) 名古屋 ☎052-551-7900(転)
東京 ☎03-5392-7190(転) 福岡 ☎092-622-0531(転)
※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕 様

電 源	リチウム電池(CR2) 1コ
動作電圧範囲	2.2V～3.4V
消費電流	動作時：30mA以下 待機時：10μA以下
報知音の音量(本体中心から前方1mで測定)	報知レベル「高い」：約75dB 報知レベル「低い」：約55dB
無線通信方式	1.9GHz TDMA-WB
使用可能距離	約100m(見通し距離)
電池寿命	約1年 (ドアの開閉：40回／1日、報知レベル「低い」)※
寸法(高さ×幅×奥行)	本体：126mm×28mm×23mm (両面テープを除く) 磁石：30mm×13mm×3mm (両面テープを含む)
使用周囲温度	−10℃～40℃
質量	本体：約45g(電池含まず) 磁石：約5g スペーサ：約10g

※パナソニック(株)製リチウム電池(CR2)を使用した場合

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/ 携帯
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626
© Panasonic Corporation 2012
8A3 F75 00001 M0812-0A

取付方法

1 取付可能なドアの確認

ドアおよびドア枠の形状により取付方法が異なりますので、ドアのタイプに応じて取付要領を確認してください。

■本体と磁石の距離は、10mm以下になるように取り付けてください。

■本体と磁石の距離が離れている場合はスペーサ(付属)に磁石を貼って取付位置を調整してください。

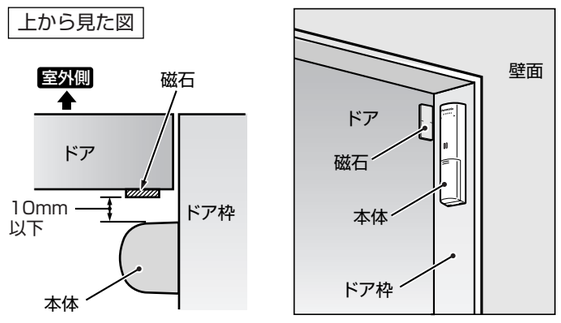
■鉄製のドアの場合は、磁石が鉄の影響を受け検知距離が短くなりますので、必ずスペーサ(付属)を使用してください。

■本体とドアの距離が33mm以上ある場合は、取り付けできません。

ドア Aタイプ

●ドア枠とドアの間に凸部がない場合

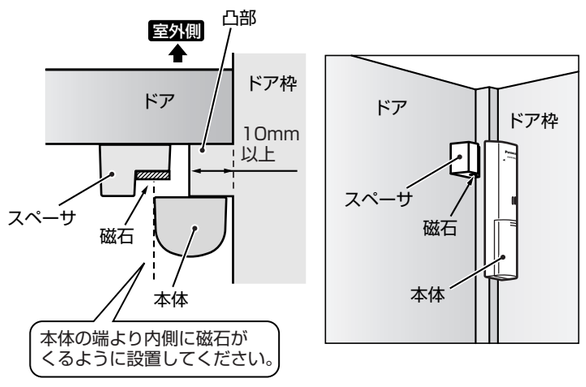
上から見た図



ドア Bタイプ

●ドア枠とドアの間の凸部の幅が10mm以上ある場合

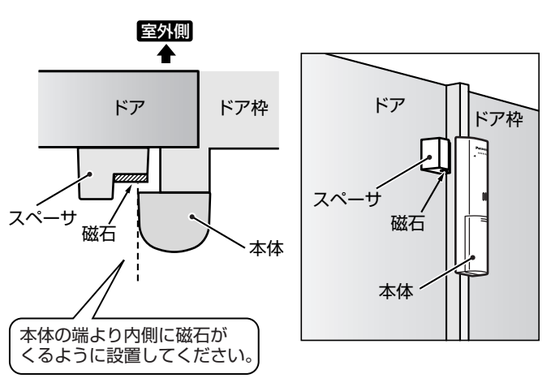
上から見た図(スペーサを使用した例)



本体の端より内側に磁石がくるように設置してください。

●親子ドアや袖付きドアの場合

上から見た図(スペーサを使用した例)



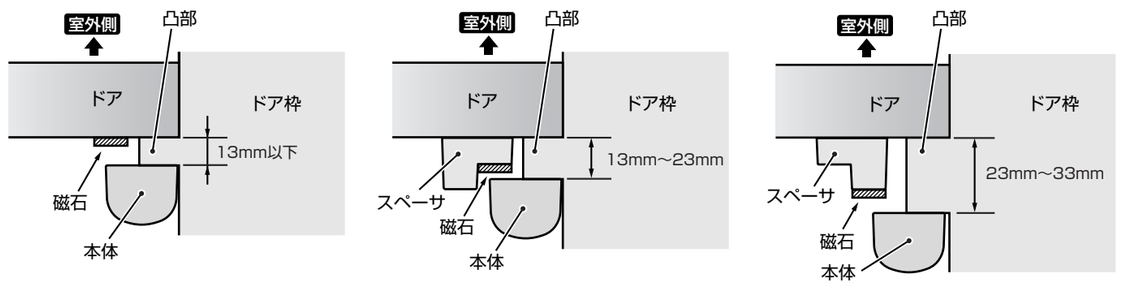
本体の端より内側に磁石がくるように設置してください。

注 ●左図の場合、凸部の幅が10mm以下の場合は、ドアAタイプの取付方法にて取り付けてください。このとき、磁石と本体の距離が10mm以上になる場合は、スペーサを使用してください。(下図参照。)

●凸部の厚みが13mm以下の場合は、スペーサは使用せずに直接ドアに磁石を貼り付けてください。(下図参照。)

●ドアと本体の距離が13mm以上ある場合はスペーサを使用します。

凸部の厚みが13mm以下の場合、スペーサは使用しません。	凸部の厚みが13mm～23mmの場合、スペーサの1段目に磁石を貼ります。	凸部の厚みが23mm～33mmの場合、スペーサの2段目に磁石を貼ります。



引き違いドアの場合

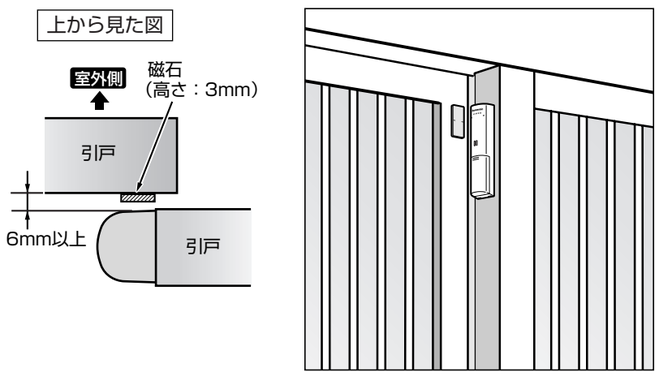
●片開きの引き違いドアの場合

ドアAタイプまたはドアBタイプの取付方法にて取り付けてください。

●両開きの引き違いドアの場合は、下記のように取り付けてください。

●磁石を貼り付けるために、ドアの隙間は6mm以上必要です。

上から見た図

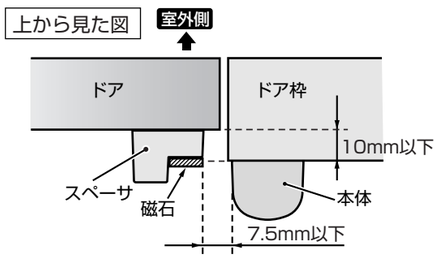


磁石を本体の横に取り付けることも可能です。

■本体と磁石の距離が7.5mm以下になるように取り付けてください。

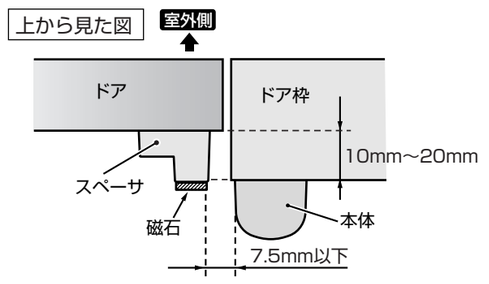
●ドアと本体の距離が10mm以下の場合、スペーサの1段目に磁石を貼り付けます。

上から見た図



●ドアと本体の距離が10mm～20mmの場合、スペーサの2段目に磁石を貼り付けます。

上から見た図

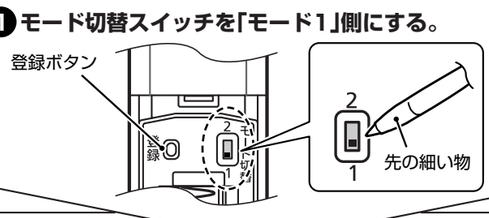


2 磁石の取付位置の確認

●本体および磁石の両面テープは粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難です。両面テープを貼り付ける前に取付位置で磁石の検知が可能かどうかを確認してください。

●本体の電池をはずした状態から始めてください。

❶モード切替スイッチを「モード1」側にする。



❷電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから、2分以内に登録ボタンを押す(2秒以上押さない)。

●電池を入れても「ピッ」と鳴らないときは、表面の「電池を入れてもピッと鳴らないとき」を確認してください。

❸実際の取付位置に本体と磁石を移動させる。

❹検知範囲を確認する。

●ドアを閉めた状態で「ピー」と鳴り続ければ使用可能です。

●約1分間確認できますので、1分以内に取付位置を決定してください。

●もう一度確認するときは、電池をはずして手順 2-❷ からやり直してください。

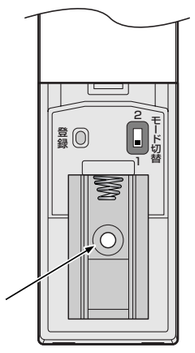
磁石の位置	確認音
検知範囲内	ピー(鳴り続ける)
検知範囲からはずれているとき	鳴りません

●確認音が鳴らない場合は、「取付可能なドアの確認」を参照して、再度、取付要領を確認してください。
鉄製のドアの場合は、必ずスペーサを取り付けてください。

❺磁石の取付位置の確認が終わったら、電池をはずす。

ネジで固定することもできます。

本体を木製のドア枠に取り付ける場合は、付属の取付用皿タッピンネジを使用してください。



電池カバーと電池をはずした図

3 ドアへの本体・磁石の取付手順

●貼付位置の汚れを落とし、ぬれている場合は乾かしてから貼り付けてください。また冬期は粘着面を温めてから貼り付けてください。汚れやぬれていたり、粘着面の温度が低すぎると、粘着力が弱くなり、はがれるおそれがあります。また、凹凸のある木製玄関ドアに貼り付けると、両面テープの接着面が小さくなりはがれるおそれがあります。

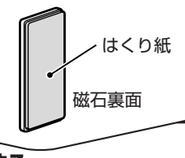
●粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難なので、あらかじめドアの開閉時に本体や磁石が当たらないことを確認してから、貼り付けてください。

●貼り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。

●両面テープは最初は粘着力が弱い場合がありますが、一昼夜程度で十分な粘着力になります。(その間は本体や磁石に強い衝撃を与えないようにしてください。)

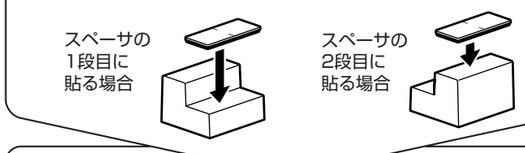
❶ドアおよびドア枠の汚れや水滴をふく。

❷磁石裏面のはくり紙をはずす。



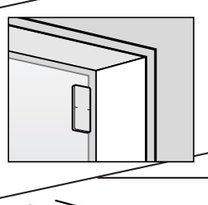
❸磁石をスペーサに貼る。

●スペーサを使用しない場合は、手順 3-❸ は不要です。



❹磁石またはスペーサをドアに貼る。

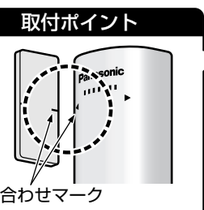
●必ず「磁石の取付位置の確認」を行ってから貼り付けてください。



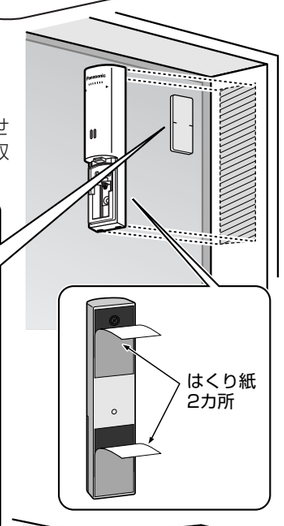
❺本体裏面のはくり紙をはがし、ドア枠へ本体を貼り付ける。

●磁石と本体の位置合わせマークが合うように取り付けてください。

取付ポイント

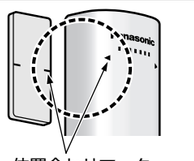


注 位置合わせマークを確実に合わせてください。合っていないと、ドアの開閉を正しく検知できない場合があります。

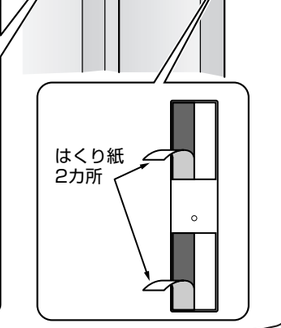


●ドアBタイプの場合は、本体裏面のはくり紙を半分のみはがして貼ることもできます。

取付ポイント



注 位置合わせマークを確実に合わせてください。合っていないと、ドアの開閉を正しく検知できない場合があります。



❻電池を入れ、電池カバーを取り付けて、取付後の動作を確認する。

❶ ドアを開閉して、ドアと本体、または本体と磁石が接触しないかを確認する。

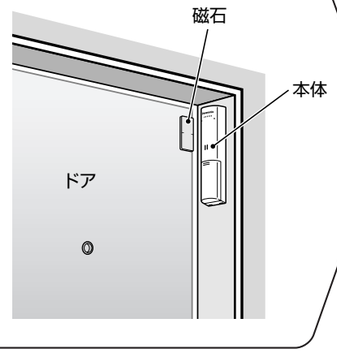
❷ 「使い方」に従って、ドアの開閉を正しく検知することを確認する。

注 電池カバーが確実に閉じていることを確認してください。不十分な場合は中に水が入り故障の原因となります。

使い方

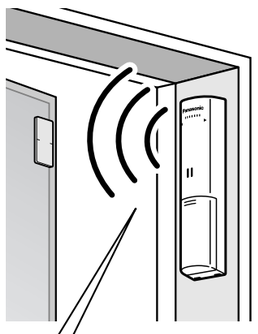
本体と親機が通信し、親機の設定に従って本体から報知音が鳴ります。(親機の説明書をお読みください。)

❶ドアを開けると



❷本体と磁石が離れて

❸親機に電波を送信



■親機の報知レベルが「高い」設定のとき
「ピーピー」と鳴り、約3分後(親機側で時間設定可能)に「ヒュンヒュンヒュン…」と約30秒間鳴る。

■親機の報知レベルが「低い」設定のとき
「ピーピー」と鳴る。

■親機の報知レベルが「オフ」設定のとき
鳴りません。

お知らせとお願い

●本体は約100分ごとに自動的に電波を送信します。
電池切れが近くなると、親機に電池切れをお知らせします。

●親機と信号の送受信ができない圏外のときは、ドアが開いても報知音は鳴りません。

●2台以上のドアセンサーから同時に電波が送信されると、親機が動作しないことがあります。(本体の報知音も鳴りません。)

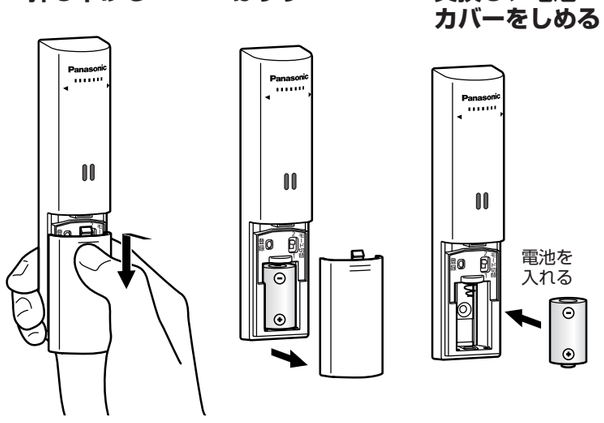
●ドアなどのガタツキにより、ドアと本体や磁石が接触する場合は、ドアなどにキズをつけるおそれがあります。ドアの建て付けの修理をしてください。

●本体の電池は取りはずさないでください。親機側で通信異常となります。

電池を交換する

電池は、リチウム電池(CR2)を使用してください。

❶電池カバーを押し下げる　❷電池カバーをはずす　❸新しい電池に交換し、電池カバーをしめる



■使用済みのリチウム電池を捨てるとき

交換後のリチウム電池は、ショート(短絡)しないように電極部分に絶縁性のあるテープなどを巻き、各市町村で定められた方法に従って廃棄してください。

お願い

●本体が確実に貼り付けられていることを確認してください。

●「使い方」に従って、ドアの開閉を正しく検知することを確認してください。

キリトリ線

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(ニ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ト)持込修理の対象商品を直接お客様ご相談窓口などに送付した場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理などを行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.